

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	仙台総合ペット専門学校
設置者名	学校法人 菅原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養専門課程	トリマー科 トリマーコース	夜・通信	1,560 時間	160 時間	
	トリマー科 キャットコース	夜・通信	1,590 時間	160 時間	
	愛玩動物看護科	夜・通信	2,482 時間	240 時間	
	ドッグトレーナー科	夜・通信	1,470 時間	160 時間	
	飼育管理科 飼育コース	夜・通信	1,470 時間	160 時間	
	飼育管理科 アクアコース	夜・通信	1,410 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.ssp.ac.jp/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	仙台総合ペット専門学校
設置者名	学校法人菅原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ http://www.sugawara.ac.jp/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2022年6月1日 ～ 2026年5月31日 (4年)	学園の経営計画全般についての的確なアドバイス
非常勤	会社役員	2022年6月1日 ～ 2026年5月31日 (4年)	学園予算について財務運営上の的確なアドバイス
非常勤	会社役員	2025年4月1日 ～ 令和9年度定時評議員会終結のときまで	学園事業計画と事業構想についての的確なアドバイス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	仙台総合ペット専門学校
設置者名	学校法人 菅原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容検討する。 ・実施前年度9月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。 ・授業方法・内容(使用教科書等含)について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。 ・シラバスを年度の授業開始1時間目に学生に示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持ち計画的に学習に取り組めるようにする。 ・シラバスには以下の情報を記載する。 授業科目名、授業担当者、授業担当者の実務経験の有無、教科書名、単位数、時間数、開講(学科、学年、学期、科目種別)、授業方法、授業概要、学習到達目標、評価方法、スケジュール(時数、授業内容、到達目標・学習課題)	
授業計画書の公表方法	https://www.ssp.ac.jp/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・学年末において、各学期末に行う試験、課題の成果、履修状況等を総合勘案して行う。評価結果の示しかたは100点法とし50点以上を合格とする。合格者に対して当該科目の修了を認定する。また、各学科の授業科目について、出席時間数が5分の4に満たない者は、当該科目の履修の認定はしない。 ・各教科目の評価結果に基づきの、成績評価はA、B、C、Dの4段階で判定し、C以上を合格とする。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ※GPAは導入していない。 ・成績管理には学園システムを使用し、各科目担当者より提出された評価結果をクラス担任が入力している。 ・入力された各科目の評価結果から、学科ごと学年別（全学科各学年1クラス編成）に成績一覧表を作成する。その際、個人の各教科の評価結果から平均点を算出し一覧に表示している。 ・学科ごとに全体の傾向を把握するために、個人の平均点を用いて度数分布表を作成している。 ・専門学校である本校では、優れた成績を得ることと、目指す職種に必要となる資格を取得し、就職することが目標となる中で、個々の成績平均値から学生の学習到達状況を把握している。 ・なお、評価結果については個人ごとに通知するとともに保護者への通知も行っている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.ssp.ac.jp/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 〈ディプロマ・ポリシー〉 卒業認定方針として、各科所定の修業年限以上在籍し、以下のような能力を身につけ課程を修了したと認定されたものに卒業を認め、高度専門士および専門士の称号を付与する。 ・目指す職業に求められる知識・技術を身につけ、その資格を有している。 ・基本的な生活習慣および人間力を身につけている。 ・自他を理解し、職場や地域社会に適応し、活躍出来る社会人基礎力を身につけている。 〈卒業の認定〉 ・授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行い、所定の在学年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.ssp.ac.jp/

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	トリマー科 トリマーコース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1920 単位時間	600 単位時間		1320 単位時間			
			1920 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80 人		89 人	0 人	7 人	15 人	22 人		
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）								
（概要） ・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。 ・実施前年度 9 月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。 ・授業方法、内容（使用教科書等含む）について確認、検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持ち、計画的に学習に取り組めるようにする。								
成績評価の基準・方法								
（概要） 試験評価、課題評価、出席状況、授業態度などの総合評価								
卒業・進級の認定基準								
（概要） 成績各科目：5 0 点以上 出席率各科目：8 0 %以上								
学支支援等								
（概要） クラス担任が定期的に個別面談を実施し、学生の不安要素を早期に解決する。場合によっては保護者を交えて三者面談。さらにはスクールカウンセラーによるカウンセリング。								

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
45 人 (100%)	0 人 (0%)	43 人 (95.6%)	2 人 (4.4%)
（主な就職、業界等） P&L ジャパン株式会社、有限会社 Coo&RIKU、株式会社ウイル動物病院グループ、株式会社ペットショップふしみ、イオンペット株式会社等ペット関係			
（就職指導内容） コミュニケーショントレーニング、ビジネスマナー、自己分析、インターンシップ指導、応募書類作成、面接対策、業界研究、業界理解などを行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） SAE 公認トリマーライセンス、愛玩動物飼養管理士、ビジネス能力検定（ジョブパス）、全経文書処理能力検定、損害保険募集人試験、家庭動物管理士等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
95 人	2 人	2.1%
（中途退学の主な理由） 体調不良、学生生活不適應 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学校独自の出席管理システムを利用してタイムリーな指導、出席不良者本人及び保護者への連絡・面接実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	トリマー科 キャットコース	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1980 単位時間	750 単位時間		1230 単位時間	
			1980 単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人		35人	0人	7人	6人	13人
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）						
（概要） ・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。 ・実施前年度9月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。 ・授業方法、内容（使用教科書等含む）について確認、検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持ち、計画的に学習に取り組めるようにする。						
成績評価の基準・方法						
（概要） 試験評価、課題評価、出席状況、授業態度などの総合評価						
卒業・進級の認定基準						
（概要） 成績各科目：50点以上 出席率各科目：80%以上						
学修支援等						
（概要） クラス担任が定期的に個別面談を実施し、学生の不安要素を早期に解決する。場合によっては保護者を交えて三者面談。さらにはスクールカウンセラーによるカウンセリング。						

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	17人 (94.4%)	1人 (5.6%)
（主な就職、業界等） 株式会社宮田ペット、株式会社ウイル動物病院グループ、株式会社ペットショップふしみ、株式会社シークエンス、フレンズ動物病院等ペット関係			
（就職指導内容） コミュニケーショントレーニング、ビジネスマナー、自己分析、インターンシップ指導、応募書類作成、面接対策、業界研究、業界理解などを行う			
（主な学修成果（資格・検定等）） 愛玩動物飼養管理士、ビジネス能力検定(ジョブパス)、全経文書処理能力検定、損害保険募集人試験、アニレセクラウド検定等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40 人	2 人	5%
(中途退学の主な理由) 体調不良、経済的事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校独自の出席管理システムを利用してタイムリーな指導、出席不良者本人及び保護者への連絡・面接実施。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	愛玩動物看護科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3128 単位時間	1938 単位時間		1190 単位時間		
			3128 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180 人		147 人	0 人	9 人	13 人	22 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） ・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。 ・実施前年度 9 月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。 ・授業方法、内容（使用教科書等含む）について確認、検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持ち、計画的に学習に取り組めるようにする。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 試験評価、課題評価、出席状況、授業態度などの総合評価	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 成績各科目：50 点以上 出席率各科目：80 %以上	
学修支援等	
（概要） クラス担任が定期的に個別面談を実施し、学生の不安要素を早期に解決する。場合によっては保護者を交えて三者面談。さらにはスクールカウンセラーによるカウンセリング。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） コミュニケーショントレーニング、ビジネスマナー、自己分析、インターンシップ指導、応募書類作成、面接対策、業界研究、業界理解などを行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 愛玩動物飼養管理士、ビジネス能力検定(ジョブパス)、全経文書処理能力検定、損害保険募集人試験、アニレセクラウド検定等			

(備考) (任意記載事項) 2023 年度新設学科の為完成年度に達していません。
--

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
91 人	7 人	7.7%
(中途退学の主な理由) 学生生活不適應、体調不良、学習意欲低下 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校独自の出席管理システムを利用してタイムリーな指導、出席不良者本人及び保護者への連絡・面接実施。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	ドッグトレーナー科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1860 単位時間	720 単位時間		1140 単位時間		
			1860 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		32 人	0 人	5 人	7 人	12 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
（概要） ・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。 ・実施前年度 9 月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。 ・授業方法、内容（使用教科書等含む）について確認、検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持ち、計画的に学習に取り組めるようにする。							
成績評価の基準・方法							
（概要） 試験評価、課題評価、出席状況、授業態度などの総合評価							
卒業・進級の認定基準							
（概要） 成績各科目：5 0 点以上 出席率各科目：8 0 %以上							
学修支援等							
（概要） クラス担任が定期的に個別面談を実施し、学生の不安要素を早期に解決する。場合によっては保護者を交えて三者面談。さらにはスクールカウンセラーによるカウンセリング。							

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12 人 (100%)	0 人 (0%)	12 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 株式会社コジマ、株式会社 AHB、ペットステーションハミング、有限会社 Coo&RIKU、WANDer Land、クラウンドッグ、ドッグスクールエイト等ペット関係			
（就職指導内容） コミュニケーショントレーニング、ビジネスマナー、自己分析、インターンシップ指導、応募書類作成、面接対策、業界研究、業界理解などを行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） SAE 公認家庭犬訓練士、愛玩動物飼養管理士、家庭動物管理士、リテールマーケティング、ビジネス能力検定(ジョブパス)、簿記能力検定、全経文書処理能力検定、損害保険募集人試験等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25 人	2 人	8%
(中途退学の主な理由) 体調不良、学習意欲低下 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校独自の出席管理システムを利用してタイムリーな指導、出席不良者本人及び保護者への連絡・面接実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	飼育管理科 飼育コース	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1710 単位時間	660 単位時間	60 単位時間	990 単位時間	
			1710 単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60人		62人	0人	5人	9人	14人
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）						
（概要） ・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。 ・実施前年度9月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。 ・授業方法、内容（使用教科書等含む）について確認、検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持ち、計画的に学習に取り組めるようにする。						
成績評価の基準・方法						
（概要） 試験評価、課題評価、出席状況、授業態度などの総合評価						
卒業・進級の認定基準						
（概要） 成績各科目：50点以上 出席率各科目：80%以上						
学修支援等						
（概要） クラス担任が定期的に個別面談を実施し、学生の不安要素を早期に解決する。場合によっては保護者を交えて三者面談。さらにはスクールカウンセラーによるカウンセリング。						
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）						
卒業生数		進学者数	就職者数 （自営業を含む。）		その他	
19人 （100%）		0人 （ %）	18人 （ 94.7%）		1人 （ 5.3%）	
（主な就職、業界等）						
株式会社 東北サファリーパーク、株式会社アミーゴ ペットワールドアミーゴ、有限会社ヨネヤマプランテーション、株式会社Love Walk等ペット関係						
（就職指導内容）						
コミュニケーショントレーニング、ビジネスマナー、自己分析、インターンシップ指導、応募書類作成、面接対策、業界研究、業界理解などを行う。						
（主な学修成果（資格・検定等））						
愛玩動物飼養管理士、家庭動物管理士、リテールマーケティング、ビジネス能力検定（ジョブパス）、基礎簿記会計、簿記能力検定、全経文書処理能力検定、損害保険募集人試験等						

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57 人	1 人	1.8%
(中途退学の主な理由) 学生生活不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校独自の出席管理システムを利用してタイムリーな指導、出席不良者本人及び保護者への連絡・面接実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	飼育管理科 アクアコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1770 単位時間	900 単位時間	60 単位時間	810 単位時間		
			1770 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		5 人	0 人	5 人	7 人	12 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。 ・実施前年度9月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。 ・授業方法、内容（使用教科書等含む）について確認、検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持ち、計画的に学習に取り組めるようにする。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験評価、課題評価、出席状況、授業態度などの総合評価
卒業・進級の認定基準
（概要） 成績各科目：50点以上 出席率各科目：80%以上
学修支援等
（概要） クラス担任が定期的に個別面談を実施し、学生の不安要素を早期に解決する。場合によっては保護者を交えて三者面談。さらにはスクールカウンセラーによるカウンセリング。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 人 (100%)	0 人 (0%)	6 人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 有限会社 グッピー園、ジャペル株式会社、株式会社宮田ペット、株式会社アミーゴ ペットワールドアミーゴ等ペット関係			
（就職指導内容） コミュニケーショントレーニング、ビジネスマナー、自己分析、インターンシップ指導、応募書類作成、面接対策、業界研究、業界理解などを行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 愛玩動物飼養管理士、家庭動物管理士、リテールマーケティング、ビジネス能力検定(ジョブパス)、基礎簿記会計、簿記能力検定、全経文書処理能力検定、損害保険募集人試験等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	2 人	22.2%
(中途退学の主な理由) 学習意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校独自の出席管理システムを利用してタイムリーな指導、出席不良者本人及び保護者への連絡・面接実施。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
愛玩動物 看護科	120,000 円	660,000 円	460,000 円	その他は、施設設備整備費 250,000 円と教材実習費 210,000 円の合計です。
トリマー 科	120,000 円	660,000 円	440,000 円	その他は、施設設備整備費 250,000 円と教材実習費 190,000 円の合計です。
ドッグト レーナー 科	120,000 円	660,000 円	440,000 円	その他は、施設設備整備費 250,000 円と教材実習費 190,000 円の合計です。
飼育管理 科	120,000 円	660,000 円	430,000 円	その他は、施設設備整備費 250,000 円と教材実習費 180,000 円の合計です。
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ssp.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
教育理念・目的・人材育成像、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受け入れ募集、財務、法令等の遵守等について評価を行う。 本校が、実践的かつ専門的な職業教育にかかる活動等を評価し、その自己評価結果を企業等の役職員及び学校関係者と評価することにより、学生等が関係業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受することを目的としている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般財団法人 全国ペット協会	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日(1年)	企業団体
有限会社ほのぼの介護	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日(1年)	企業
有限会社ヨネヤマプランテーション	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日(1年)	企業
株式会社 Love Walk	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日(1年)	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ssp.ac.jp/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ssp.ac.jp/
--

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H104391010161
学校名（〇〇大学 等）	仙台総合ペット専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人 菅原学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		74人（-）人	74人（-）人	74人（-）人
内 訳	第Ⅰ区分	40人	38人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	16人	18人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	11人	-	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	-	-	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（0）人
合計（年間）				74人（-）人
（備考）				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	-
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	15人	12人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	15人	12人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。